

T S2/9/ALL FROM 347

2/9/1 (Item 1 from file: 347)

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO &amp; JAPIO. All rts. reserv.

05153368 \*\*Image available\*\*

AUTOMOBILE REAR FLOOR PANEL STRUCTURE

PUB. NO.: 08-108868 [JP 8108868 A]  
PUBLISHED: April 30, 1996 (19960430)  
INVENTOR(s): YAMANE TATSUHISA  
APPLICANT(s): DAIHATSU MOTOR CO LTD [000296] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)  
APPL. NO.: 06-244039 [JP 94244039]  
FILED: October 07, 1994 (19941007)  
INTL CLASS: [6] B62D-025/20; B62D-043/10  
JAPIO CLASS: 26.2 (TRANSPORTATION -- Motor Vehicles)

## ABSTRACT

PURPOSE: To reduce the manufacturing cost of a press die by a large margin and save space by using the rear floor panel of a two-box vehicle in common to form the rear floor plate of a three-box vehicle.

CONSTITUTION: A rear auxiliary floor panel 10 is connected to a front floor panel 8 from the longitudinal view of a body, and a closed cross section structure part 11 formed in the cross direction by the bent shape of both floor plates is formed at the connection part of both panels. A recessed part 12 is formed at the front floor panel 8, frontward from the closed cross section structure part 11, and this recessed part 12 is used as a storage space for a spare tire.

?

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-108868

(43) 公開日 平成8年(1996)4月30日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

B 6 2 D 25/20  
43/10

識別記号

庁内整理番号

J 7615-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全3頁)

(21) 出願番号 特願平6-244039

(22) 出願日 平成6年(1994)10月7日

(71) 出願人 000002967

ダイハツ工業株式会社

大阪府池田市ダイハツ町1番1号

(72) 発明者 山根達久

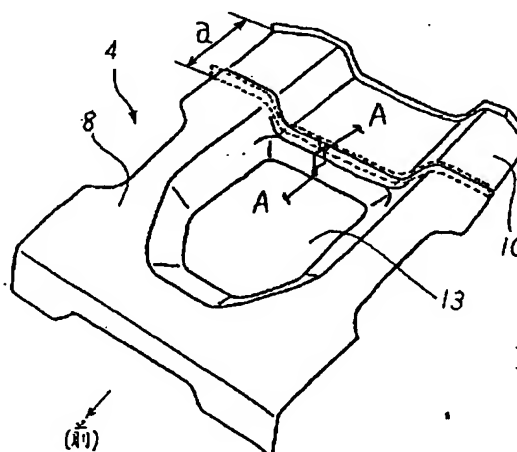
大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハ  
ツ工業株式会社内

(54) 【発明の名称】 自動車の後部床板構造

(57) 【要約】

【目的】 2ボックス車の後部床板を共用して3ボックス車の後部床板を形成し、プレス金型の製造費を大幅に低減すると共に省スペース化を図る。

【構成】 車体前後方向で見た前床板8に後補助床板10を接続し、この接続部分に両床板の屈曲形状によって構成される車幅方向の閉断面構造部11を形成する。上記において、閉断面構造部11の箇所から前方にかけて前床板8に凹部12を形成し、ここがスペアタイヤ用の収容空間とされる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体前後方向で見た前床板に後補助床板を接続し、この接続部分に両床板の屈曲形状によって構成される車幅方向の閉断面構造部を形成したことを特徴とする自動車の後部床板構造

【請求項2】 請求項1において、閉断面構造部の箇所から前方にかけて前床板に凹部を形成し、ここがスベアタイヤ用の収容空間とされていることを特徴とする自動車の後部床板構造

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は自動車の後部床板構造に関するもので、たとえば、車体前後方向で見た長さを変えるような分野で利用されるものである。

## 【0002】

【従来の技術】 図3、図4、図5、図6に従って従来の技術を以下に説明する。同一型式で複数の車種、たとえば、2ボックス車1および3ボックス車2となる自動車において、2ボックス車1の後部床板3および3ボックス車2の後部床板4をそれぞれ専用のプレス金型にて成形するようにしている。なお、後部床板3に形成した凹部5および後部床板4に形成した凹部6はスベアタイヤ用の収容空間である。また、7は後部床板3の後端部に形成したフランジである。さらに、図5に示す後部床板3と図6に示す後部床板4とは外形形状は類似しているが、車体前後方向の長さは後部床板4の方が後方にaだけ長い。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記のような従来の自動車の後部床板構造にあっては、2ボックス車と3ボックス車の後部床板を成形するためには、それぞれ専用のプレス金型が必要であり、金型の製造費が非常に高くつくという問題がある。また、車体前後方向で見た後部床板の長い3ボックス車にあっては、車体後部の握り剛性が不足するため、後部床板の下面にクロスメンバーの追加などが必要であり、大幅なコストアップと重量アップにつながるという問題がある。さらに、両床板は嵩の高いパネル部品であるため、それらを個別に成形・保管しようとする、大きなスペースの確保が必要であるという問題がある。本発明は、これら従来の問題を解決することを目的としている。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するため本発明は、車体前後方向で見た前床板に後補助床板を接続し、この接続部分に両床板の屈曲形状によって構成される車幅方向の閉断面構造部を形成するようにしたのである。上記に加えて、閉断面構造部の箇所から前方にかけて前床板に凹部を形成し、ここがスベアタイヤ用の収容空間とされるようにしたのである。

## 【0005】

2

【作用】 上記のように構成した自動車の後部床板構造において、閉断面構造部が車体後部の握り剛性をアップすると共に凹部がスベアタイヤの収容空間とする。

## 【0006】

【実施例】 本発明は、2ボックス車と3ボックス車またはショートボデーとロングボデーなどにおいて適用されるが、以下の実施例では2ボックス車と3ボックス車を例にとって以下に詳しく説明する。2ボックス車1の後部床板3をそのまま共用して3ボックス車2の前床板8とする。そして、3ボックス車2の後部床板4を形成するため、前記前床板8の後端部を垂直に折り曲げて形成されているフランジ9を後方に折り返して水平とし、この部分と後床板（後補助床板に相当）10の前端部後方部位とを接続すると共に前記後床板10の前端部を下方に垂直に折り曲げて形成したフランジ11と前床板8の後端部前方部位とを接続する。そして、この接続部分に両床板8、10の屈曲形状によって構成される車幅方向の閉断面構造部12を形成する。また、後床板10の車幅方向の断面形状を前床板8の後端部形状に沿う形状とし、車体後部の握り剛性アップの一助となるようにする。また、本発明により形成された3ボックス車2のスベアタイヤの収容空間は、前記閉断面構造部12の箇所から前方にかけて前床板8に形成した凹部13とする。さらに、車体前後方向で見た後床板10の長さは、上記従来の技術で説明した2ボックス車と3ボックス車の後部床板3、4の差aと同じである。なお、図1に示す符号4は両床板8、10が接続されたアセンブリの状態を指している

## 【0007】

【発明の効果】 本発明は上記に説明したように構成されているので、以下に記載するような効果を奏する。2ボックス車の後部床板をそのまま共用して3ボックス車の後部床板を形成するようにしたので、3ボックス車の後部床板の金型が不要となる一方、嵩の低い小さな後床板の金型の追加が必要となるが、トータルでの金型の製造費は大幅に低減することができるという効果がある。また、車幅方向に閉断面構造部を形成するようにしたので、3ボックス車の車体後部の握り剛性をアップすることができるという効果がある。上記効果により、3ボックス車の後部床板の下面に設定されていたクロスメンバーをなくすることができるため、大幅なコスト低減と軽量化を図ることができるという効果がある。さらに、3ボックス車のような専用の嵩の高いパネル部品に替えて嵩の低い後床板のパネル部品を用いて後部床板を形成するようにしたので、2ボックス車の後部床板も含めて全パネル部品の成形・保管のために必要なスペースの省スペース化を図ることができるという効果がある。また、閉断面構造部の箇所から前方の2ボックス車の後部床板に形成した凹部を3ボックス車のスベアタイヤの収容空間として兼用するようにしたので、3ボックス車の後部

3

4

床板にはわざわざスペアタイヤの収容空間を形成する必要がないという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施例を示す自動車の後部床板構造の斜視図である。

【図2】 図1のA-A線の断面図である。

【図3】 従来技術を示す2ボックス車の側面図である。

【図4】 従来技術を示す3ボックス車の側面図である。

【図5】 従来技術を示す2ボックス車の後部床板構造の

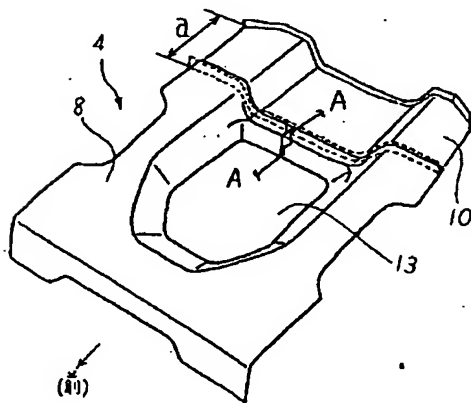
斜視図である。

【図6】 従来技術を示す3ボックス車の後部床板構造の斜視図である。

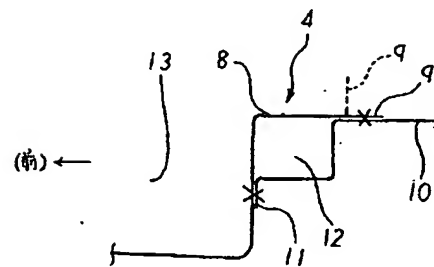
【符号の説明】

- 8 前床板
- 10 後補助床板
- 12 閉断面構造部
- 13 凹部

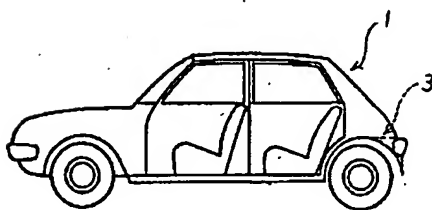
【図1】



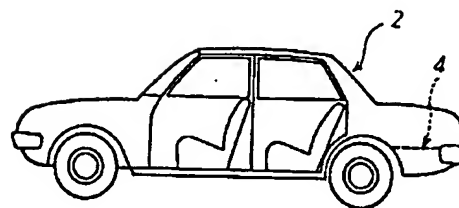
【図2】



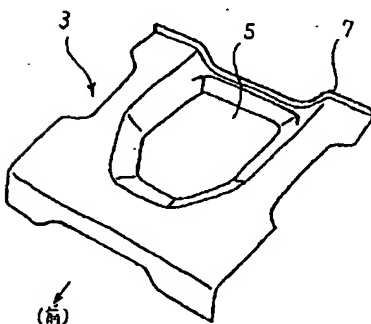
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

